

新型コロナウイルス感染症流行下の 日本人旅行者の動向（その7）

～JTBF旅行実態調査結果より～

2020年9月15日

公益財団法人日本交通公社
観光地域研究部 市場調査チーム

調査概要

調査名 : JTBF旅行実態調査2020【トリップ調査】
 調査対象 : 全国16～79歳の男女で、期間中に観光・レクリエーション旅行を実施した人（調査会社のパネルより抽出）
 調査方法 : ウェブ調査
 調査項目 : コロナ禍による実施した旅行への影響、コロナ禍での旅行における心理的状況・対策、等

■第1四半期調査

調査の対象とした旅行期間 : 2020年1～3月
 調査期間 : 2020年5月1日～5月11日
 標本の大きさ : 国内宿泊観光旅行 1,451人
 集計対象としたトリップ数 : 国内宿泊観光旅行 2,080件

年齢（歳）	男性								女性								合計
	16-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	計	16-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	計	
標本の大きさ（人）	35	117	130	155	124	113	94	768	24	98	100	123	113	109	116	683	1,451
構成比（%）	2.4	8.1	9.0	10.7	8.5	7.8	6.5	52.9	1.7	6.8	6.9	8.5	7.8	7.5	8.0	47.1	100.0
トリップ数（件）	50	178	192	235	189	174	131	1,149	28	151	129	166	147	156	154	931	2,080
構成比（%）	2.4	8.6	9.2	11.3	9.1	8.4	6.3	55.2	1.3	7.3	6.2	8.0	7.1	7.5	7.4	44.8	100.0

■第2四半期調査

調査の対象とした旅行期間 : 2020年4～6月
 調査期間 : 2020年7月9日～7月15日
 標本の大きさ : 国内宿泊観光旅行 1,069人
 集計対象としたトリップ数 : 国内宿泊観光旅行 1,401件

年齢（歳）	男性								女性								合計
	16-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	計	16-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	計	
標本の大きさ（人）	25	88	88	103	89	82	76	551	22	63	74	99	83	91	86	518	1,069
構成比（%）	2.3	8.2	8.2	9.6	8.3	7.7	7.1	51.5	2.1	5.9	6.9	9.3	7.8	8.5	8.0	48.5	100.0
トリップ数（件）	31	125	122	148	119	104	101	750	25	78	95	122	105	118	108	651	1,401
構成比（%）	2.2	8.9	8.7	10.6	8.5	7.4	7.2	53.5	1.8	5.6	6.8	8.7	7.5	8.4	7.7	46.5	100.0

※国勢調査時の人口（地域・性別・年代）に基づき、調査会社のモニターを割り当て。ただし、一部若年層および高齢層において不足した属性あり。

※海外観光旅行も調査対象としているが、第2四半期調査の海外観光旅行実施状況が不透明であるため、今回の分析対象からは除外。

調査結果

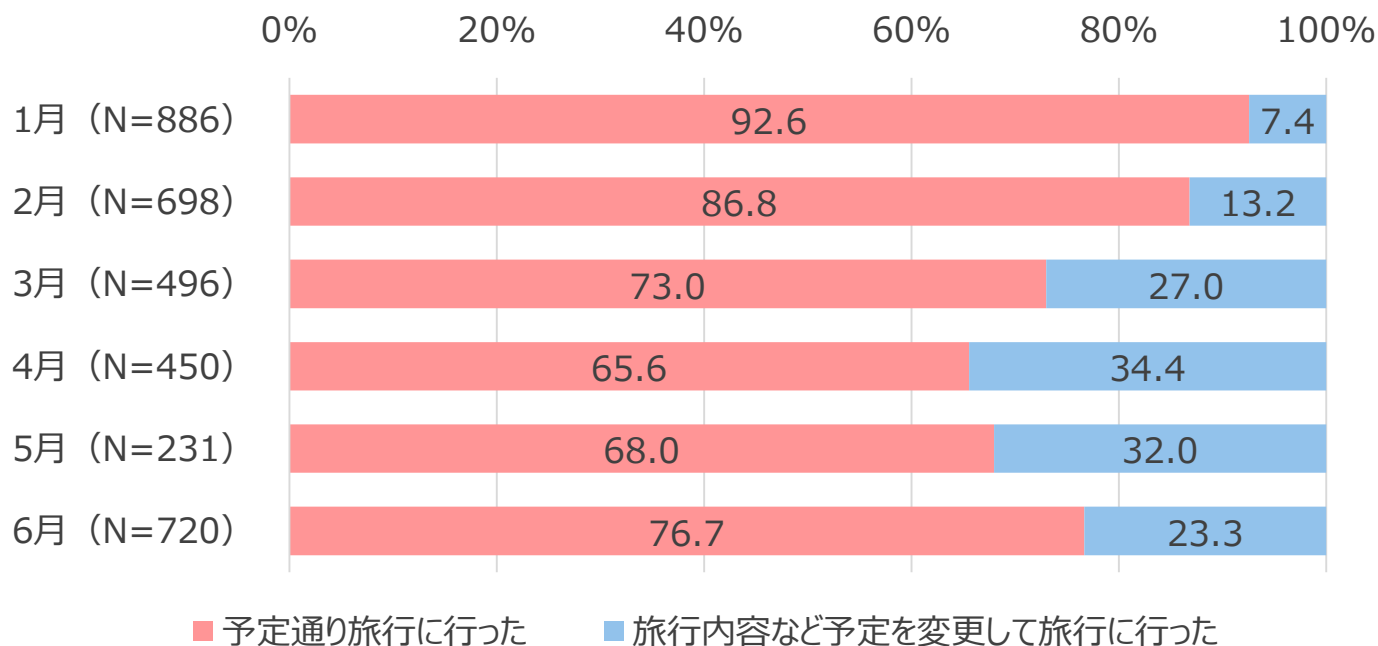
1. 実施した旅行へのコロナ禍の影響	…	p.4
(1) 実施した旅行へのコロナ禍の影響	…	p.4
(2) 変更した旅行内容	…	p.5
2. コロナ禍での旅行実施にあたっての気持ち	…	p.7
3. コロナ禍で実施した旅行の感想	…	p.9
4. 旅行先での新型コロナウイルス対応策	…	p.11

※本調査結果は実施した旅行（トリップ数：期間中に複数回旅行した人は各旅行ごとに回答）を対象に集計したものです。

予定通り実施した旅行 4月から6月にかけて増加

- 実施した国内旅行について、コロナ禍の影響で旅行予定に変更が生じたか否かを尋ねました。「予定通りに実施した」旅行件数の割合は、1月には9割を超えていたものの徐々に減少し4月に6.5割と最も低くなりました。5月以降は再び増加に転じています。

Q. 旅行の実施にあたり、新型コロナウイルスはどのように影響しましたか。(国内旅行)

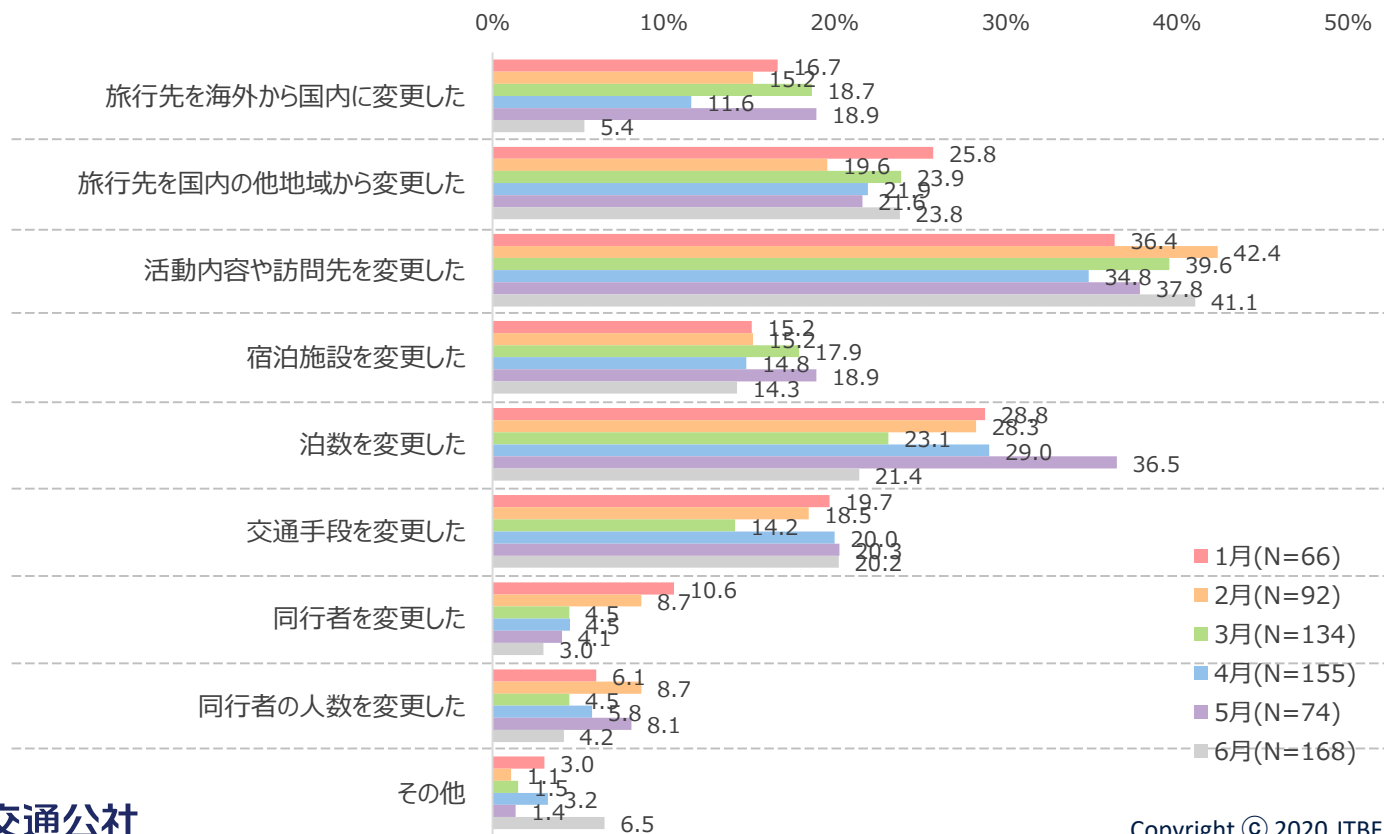


コロナ禍による変更「活動内容や訪問先」最多

- コロナ禍によって変更した国内旅行の内容は、すべての月で「活動内容や訪問先」が最多となっています。最も旅行内容を変更した割合が高かった4月では、突出して多い変更はありませんでしたが、様々な内容の変更が行われていました。
- 5月においては、「泊数」に関する変更が「活動内容や訪問先」の変更に迫る勢いでした。GWの旅行は比較的長めの日数での計画も多いため、泊数の短縮がほかの月に比べて多くなったと考えられます。

Q. 新型コロナウイルスの影響で変更した内容を教えてください。(国内旅行)

(新型コロナの影響で旅行内容を変更した旅行のみ)【複数回答】



まち歩きや温泉など密集しやすい空間での活動のとりやめが多い

- コロナ禍での国内旅行実施にあたり「活動内容や訪問先」を変更した旅行を対象に、とりやめた活動内容を尋ねたところ、「まち並み散策・まち歩き」や「温泉」といった人が密集しやすい空間での活動が多く挙げられました。

新型コロナの影響でとりやめた活動内容（国内旅行）【コロナ禍で「活動内容や訪問先」を変更した旅行のみ/複数回答】

1月 (N=24)		
1位	まち並み散策・まち歩き	45.8%
2位	温泉 ショッピング・買い物	33.3%

2月 (N=39)		
1位	都市観光・都会見物	35.9%
2位	歴史・文化的な名所の訪問	33.3%
3位	まち並み散策・まち歩き	30.8%

3月 (N=53)		
1位	温泉 歴史・文化的な名所の訪問 テーマパーク・レジャーランド	17.0%

4月 (N=54)		
1位	温泉	35.2%
2位	まち並み散策・まち歩き	29.6%
3位	ショッピング・買い物	24.1%

5月 (N=28)		
1位	テーマパーク・レジャーランド	28.6%
2位	まち並み散策・まち歩き 温泉 ショッピング・買い物	25.0%

6月 (N=69)		
1位	まち並み散策・まち歩き	24.6%
2位	都市観光・都会見物	23.2%
3位	歴史・文化的な名所の訪問	18.8%

旅行実施時の気持ち「心配しても仕方ない」 1~6月にかけて増加

- 国内旅行実施にあたっての気持ちを尋ねたところ、1~2月は「新型コロナウイルスに対する不安は感じなかった」「今の状況では自分にあまりかわりはないと思った」が目立ちましたが、3月になるとそれらは上位ではあるものの割合は減少、4月以降は「心配しても仕方ないと思った」が最も多くなりました。
- 「旅行先の観光地を応援したかった」「経済の停滞は避けるべきだと考えた」は1月から6月にかけて増加し続けており、コロナ禍による観光地衰退を心配する回答も一定程度みられました。

Q. その旅行を実施したときのあなたのお気持ちを教えてください。(国内旅行)【複数回答】

	1月 (N=886)	2月 (N=698)	3月 (N=496)	4月 (N=450)	5月 (N=231)	6月 (N=720)
心配しても仕方ないと思った	13.9	19.8	19.8	26.2	33.8	27.9
旅行先の感染者数が少ないので安心できると思った	8.2	14.6	21.0	17.3	19.9	24.9
旅行先の観光地を応援したかった	3.3	7.9	12.7	12.9	14.3	24.0
新型コロナウイルスに対する不安は感じなかった	66.4	37.0	26.2	20.4	20.3	21.7
経済の停滞は避けるべきだと考えた	4.3	5.7	6.3	10.2	11.7	13.8
旅行商品やホテル代などの値段が通常より安くなっていた	1.2	2.4	4.6	5.1	3.9	12.8
外国人観光客が少ないと思った	4.3	9.9	11.5	10.2	6.1	11.8
今の状況では自分にあまりかわりはないと思った	30.2	26.8	19.0	17.3	11.3	11.5
どうしても行きたい旅行だった	6.7	12.9	18.3	13.8	11.3	10.1
どこも空いていると思った	2.1	4.3	9.1	9.8	11.3	10.0
旅行の実施有無は同行者の考えに応じた	3.4	7.3	11.9	10.7	8.2	9.0
旅行先には迷惑はかからないと思った	6.5	6.7	8.1	7.6	7.8	7.8
休暇が変更できなかった	3.6	7.9	8.1	10.7	12.6	6.0
自粛には耐えられなかった	1.4	1.6	2.6	5.8	6.1	5.0
自分は感染しないと思った	6.5	8.7	6.3	10.9	10.4	4.9
今しか楽しめない旅行だった(卒業旅行や新婚旅行の記念旅行など)	2.9	6.7	10.3	8.7	5.2	3.2
感染しても、発症しない、軽症で済むと思った	5.9	5.2	4.0	6.4	8.7	2.8
旅行を中止・変更するとキャンセル料がかかるのが嫌だった	4.3	8.0	7.7	9.6	5.2	2.2
旅行の中止や変更をするのが面倒だった	3.0	3.6	3.8	4.0	2.6	1.4
冠婚葬祭への出席を兼ねていたから仕方なかった	1.5	1.6	2.6	2.0	4.3	0.8
その他	9.8	5.9	7.5	4.0	2.6	5.3

6月 北海道への旅行実施者の3割が「旅行先を応援したい」

- 1～6月に実施した旅行の訪問先として回答数が多かった北海道と東京都への旅行実施時の気持ちを比較しました。北海道では早くから独自の緊急事態宣言が発出（2/28発出）されており、3月に北海道を訪問した旅行において「新型コロナに対する不安は感じなかった」は5.7%と、東京都への旅行（34.5%）よりも約30ポイント低くなりました。
- 6月において、北海道への旅行では「旅行先の観光地を応援したかった」の割合が「不安は感じなかった」と同率で最も高く、3割を占めるのに対し、東京都への旅行では1割にとどまりました。

【参考】旅行実施時の気持ち【北海道と東京都への旅行】

	1月		2月		3月		4月		5月		6月	
	北海道 (N=66)	東京都 (N=122)	北海道 (N=47)	東京都 (N=86)	北海道 (N=35)	東京都 (N=29)	北海道 (N=24)	東京都 (N=27)	北海道 (N=16)	東京都 (N=11)	北海道 (N=43)	東京都 (N=18)
心配しても仕方ないと思った	16.7	17.2	23.4	23.3	25.7	31.0	16.7	37.0	25.0	72.7	27.9	33.3
旅行先の感染者数が少ないので安心できると思った	4.5	12.3	14.9	14.0	17.1	17.2	12.5	3.7	18.8	0.0	14.0	11.1
旅行先の観光地を応援したかった	4.5	3.3	14.9	2.3	28.6	6.9	16.7	11.1	6.3	9.1	30.2	11.1
新型コロナウィルスに対する不安は感じなかった	56.1	65.6	21.3	31.4	5.7	34.5	33.3	14.8	43.8	9.1	30.2	11.1
経済の停滞は避けるべきだと考えた	10.6	1.6	6.4	5.8	25.7	0.0	16.7	3.7	6.3	18.2	20.9	5.6
旅行商品やホテル代などの値段が通常より安くなっていた	0.0	0.8	6.4	1.2	5.7	0.0	4.2	3.7	6.3	0.0	16.3	0.0
外国人観光客が少ないと思った	7.6	3.3	14.9	3.5	20.0	6.9	8.3	3.7	6.3	9.1	20.9	11.1
今の状況では自分にかかわりはないと思った	22.7	27.9	34.0	31.4	17.1	27.6	12.5	14.8	0.0	27.3	9.3	16.7
どうしても行きたい旅行だった	4.5	12.3	12.8	18.6	37.1	17.2	8.3	29.6	6.3	27.3	7.0	50.0
どこも空いていると思った	3.0	0.8	4.3	4.7	8.6	6.9	4.2	7.4	6.3	9.1	7.0	5.6
旅行の実施有無は同行者の考えに応じた	0.0	4.9	2.1	5.8	8.6	3.4	0.0	3.7	6.3	9.1	2.3	5.6
旅行先には迷惑はかからないと思った	6.1	9.0	10.6	8.1	25.7	6.9	4.2	11.1	0.0	0.0	7.0	5.6
休暇が変更できなかった	3.0	4.1	6.4	5.8	8.6	3.4	16.7	11.1	18.8	18.2	2.3	5.6
自粛には耐えられなかった	1.5	1.6	2.1	0.0	8.6	6.9	0.0	7.4	0.0	18.2	4.7	16.7
自分は感染しないと思った	12.1	10.7	8.5	15.1	11.4	27.6	25.0	11.1	12.5	18.2	4.7	5.6
今しか楽しい旅行だった（卒業旅行や新婚旅行の記念旅行など）	3.0	6.6	6.4	11.6	11.4	10.3	4.2	7.4	12.5	0.0	0.0	0.0
感染しても、発症しない、軽症で済むと思った	6.1	6.6	10.6	4.7	5.7	10.3	4.2	11.1	0.0	18.2	2.3	0.0
旅行の中止や変更をするのが面倒だった	0.0	3.3	6.4	5.8	2.9	3.4	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
旅行を中止・変更するとキャンセル料がかかるのが嫌だった	7.6	4.9	17.0	10.5	11.4	3.4	4.2	0.0	6.3	0.0	2.3	0.0
冠婚葬祭への出席を兼ねていたから仕方なかった	1.5	1.6	4.3	3.5	2.9	6.9	4.2	3.7	0.0	18.2	0.0	0.0
その他	12.1	11.5	4.3	5.8	14.3	0.0	4.2	3.7	0.0	0.0	7.0	0.0

コロナ禍での旅行 4～6月は「混雑がなく快適」最多

- 国内旅行を実施した時の感想については、1～2月は「平常時の旅行と特段変わらなかった」が6割以上を占めていましたが、3月になると4割程度にまで落ち込んでいます。「混雑がなく快適だった」は、2月に2割を超え、4月以降は最も高くなり、「平常時の旅行と特段変わらなかった」が続きます。
- 「新型コロナウイルスの感染が不安だった」や「感染源にならないか心配だった」といった旅行先での感染への懸念は、3月時点が最も高くなりました。

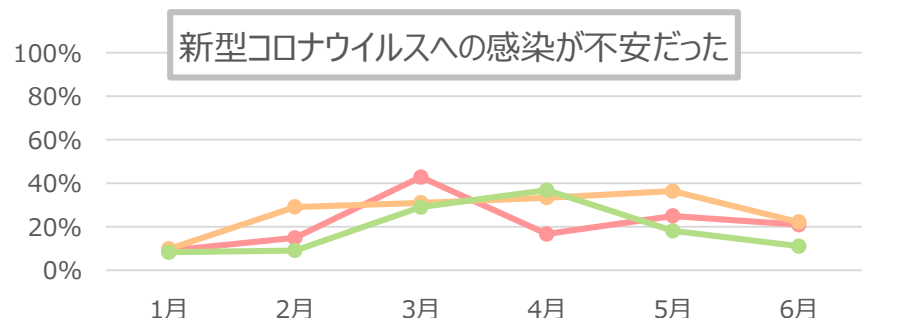
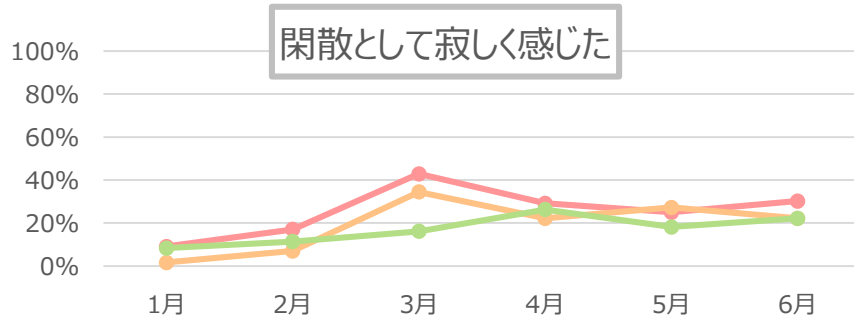
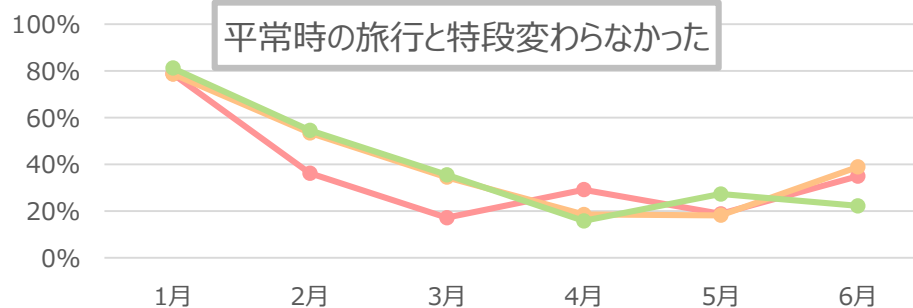
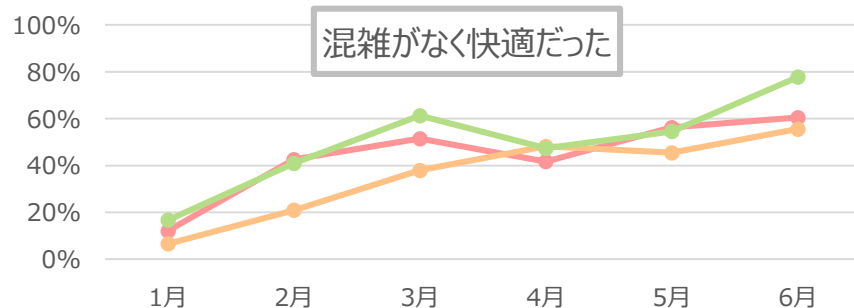
Q. その旅行を実施したときの感想を教えてください。（国内旅行）【複数回答】

	1月 (N=886)	2月 (N=698)	3月 (N=496)	4月 (N=450)	5月 (N=231)	6月 (N=720)
混雑がなく快適だった	14.2	25.1	36.7	41.1	43.7	49.7
平常時の旅行と特段変わらなかった	82.1	60.6	44.0	26.2	24.7	33.6
閑散としていて寂しく感じた	4.4	9.6	19.4	25.6	23.8	18.1
旅行先で歓迎された	11.3	12.0	13.1	10.9	14.3	17.9
新型コロナウイルスへの感染が不安だった	7.6	17.3	26.2	22.2	20.3	16.7
通常営業していない店舗・施設があり残念だった	3.6	5.0	13.7	13.3	20.8	14.3
当初の想定より混雑していた	6.1	9.6	12.1	5.3	5.2	10.4
自分が新型コロナウイルスの感染源にならないか心配だった	5.5	11.5	14.7	13.3	12.6	7.5
新型コロナウイルスの感染を気にして疲れてしまった	5.0	9.5	9.3	9.6	9.5	4.6
旅行先で快く思われなかったのではと不安になった	2.0	3.0	3.8	7.3	8.7	3.1
旅行後に周囲から批判された	1.2	2.0	2.0	2.4	0.9	0.3
旅行後の待機要請への対応が大変だった	1.1	0.7	0.6	1.8	0.9	0.1
その他	0.9	0.6	1.0	0.7	1.3	1.0

6月の旅行「混雑がなく快適だった」北海道・東京都6割、京都府8割

- 「混雑がなく快適だった」は、3都道府ともに1月には2割以下でしたが、6月には5割以上となり、混雑を感じていない旅行が過半数を占めました。特に京都府では8割程度となっています。
- 「平常時の旅行と特段変わらなかった」は、2~3月において独自の緊急事態宣言が発出された北海道への旅行で、人出の多くなった6月には京都府への旅行で最も低くなりました。
- 「閑散として寂しく感じた」は、北海道と東京都では3月、京都府では4月においてピークとなりました。
- 「新型コロナへの感染が不安だった」は、北海道では3月、東京都では5月、京都府では4月がピークとなり、6月の旅行では3都道府とも減少傾向にありました。

【参考】旅行実施時の感想【北海道、東京都、京都府への旅行】 ※一部選択肢のみ抜粋



●北海道 ●東京都 ●京都府

※北海道、東京都のN数はp8参照。京都府のN数は次の通り。1月：48、2月：44、3月：31、4月：19、5月：11、6月：27

マスク着用、手洗い・うがい等、徐々に旅行先での感染対策の徹底進む

- 6月に実施した旅行において「マスクを着用する」は9割以上となっており、「手洗い・うがいを励行・徹底する」「訪問先に設置されているアルコール除菌スプレーを励行・徹底する」も7割を超えています。
- 旅行実施中のコロナ対応策について「特に何もしていない」と答えた割合は、月を追うごとに減少しており、コロナ対策の徹底が徐々に進んでいることがわかります。

Q. 旅行実施中の新型コロナウイルス対応策をお知らせください。(国内旅行)【複数回答】

	1月 (N=886)	2月 (N=698)	3月 (N=496)	4月 (N=450)	5月 (N=231)	6月 (N=720)
マスクを着用する	36.1	59.7	75.0	81.3	80.1	92.9
手洗い・うがいを励行・徹底する	30.8	53.4	64.7	61.3	61.5	74.0
訪問先に設置されているアルコール除菌スプレーを励行・徹底する	18.6	37.2	54.6	52.7	57.1	73.9
アルコール除菌剤（スプレーやシート等）を携帯する	22.9	40.7	51.8	52.2	49.8	61.1
多数が集まる密集空間を避ける	10.9	23.4	41.9	43.6	35.1	47.9
周囲の人との間隔をあける（ソーシャルディスタンス）	8.2	17.9	32.7	34.4	35.5	46.9
換気の悪い密閉空間を避ける	11.5	24.1	39.5	38.9	36.4	43.5
不特定多数が触れる箇所（ドアノブや手すりなど）をなるべく触らない	11.2	24.1	34.7	36.4	30.7	42.2
食事の際の安全性を確保する（ピュウフェを避ける、食べ歩きを避ける等）	7.4	15.3	29.0	27.8	24.2	35.3
間近で会話が発生する密接空間を避ける	7.4	16.0	30.0	27.3	22.5	31.7
特に何もしていない	47.4	19.5	9.1	4.2	3.9	1.8
その他	1.0	0.4	0.6	0.4	0.0	0.6

新型コロナウイルス感染症流行下の日本人旅行者の動向（その7）

～ JTBF旅行実態調査結果より ～

2020年9月15日発行

公益財団法人日本交通公社

観光地域研究部 市場調査チーム

五木田 玲子 / 仲 七重 / 安原 有紗 / 中島 泰 / 寺崎 竜雄

- 本資料は著作物であり著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い引用する際は必ず出所を明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する場合は著作権者の許諾が必要です。下記お問合せ先までご連絡ください。

公益財団法人日本交通公社 観光文化情報センター

電話番号：03-5770-8360

Website：<https://www.jtb.or.jp/>